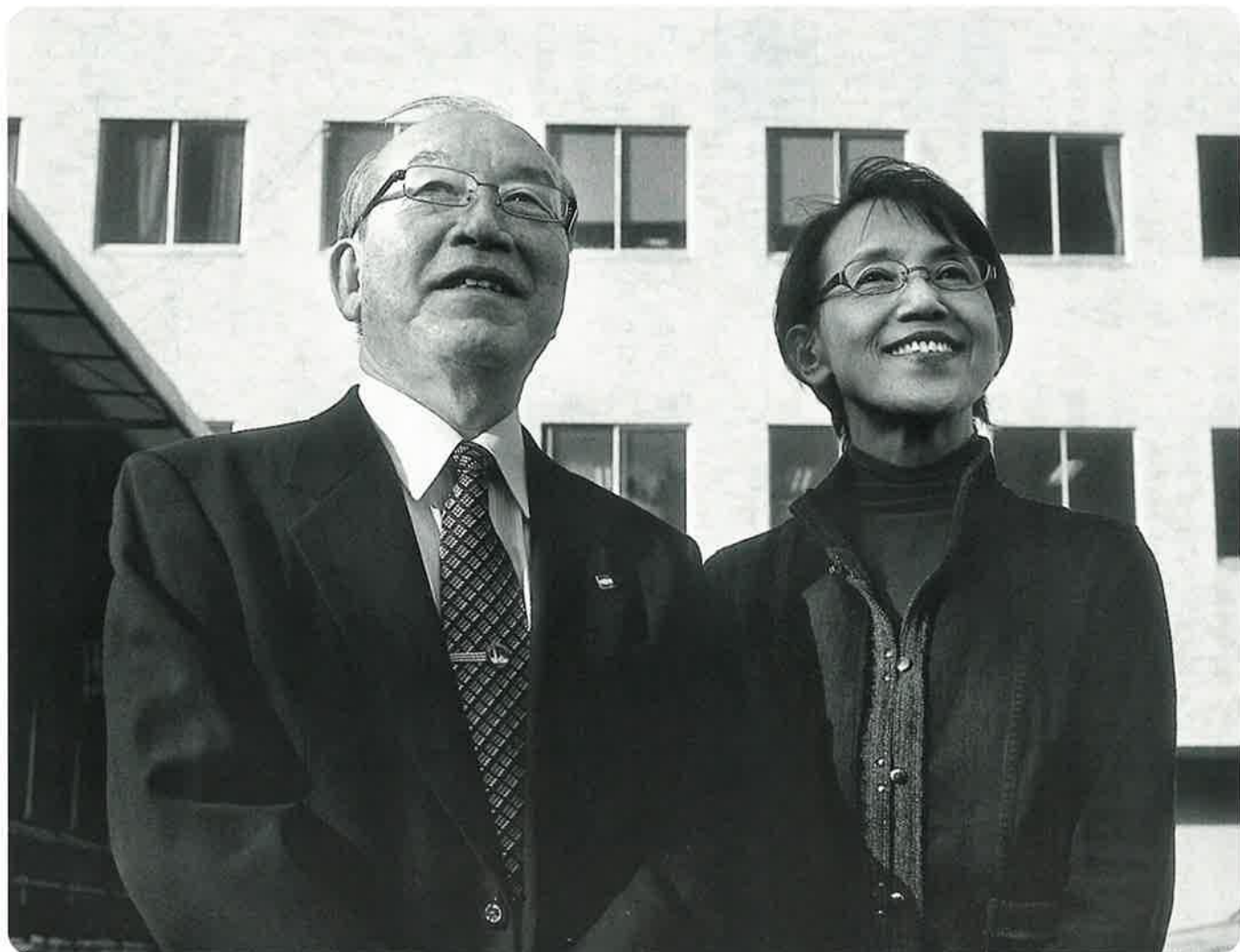


CO・OP

京都の生協

2010/April/No. 71
京都府生活協同組合連合会



認知症になっても笑顔でくらせる社会を
—活動の柱は、家族どうして励まし合うことと、社会をよくすること—

Talk Talk トークとーく

- (社)認知症の人と家族の会 代表理事 たかみ くにお 高見 国生さん
●京都府生活協同組合連合会 会長理事 こばやし ともこ 小林 智子

対談

TalkTalk

トークとーく

認知症になっても笑顔でくらする社会を

—活動の柱は、家族どうして励まし合うことと、社会をよくすること—

(社)認知症の人と家族の会 代表理事

京都府生活協同組合連合会 会長理事

高見 くに 生さん
小林 ぼやし とも 子

「私は誰になっていくの?」——オーストラリア人女性クリスティーン・ブライデンさんのこの問いかけは、認知症の自身による言葉として世界に大きな衝撃をあたえました。

以前は「何もわからなくなる」と思われていた認知症ですが、近年、医学的な

知見も介護を支える制度も大きく変わっています。その変化をつくりだした力のひとつに、「認知症の人の介護は、家族だけの問題ではない。高齢社会にむけて、社会全体で支える必要がある」と主張する、「(社)認知症の人と家族の会」の活動があります。

母が呆けた——介護のはじまり

小林 「(社)認知症の人と家族の会」は、ことし創立30周年ですね。おめでとうございます。

ご自身はお母さまの介護をなさっていたんですね。高見 養母の現役介護者でした。

高見 ありがとうございます(笑)。私たちの会は、「呆け老人をかかえる家族の会」という名前で、1980年に産声をあげました。1月20日が誕生日です。

小林 というと、実のお母さまではなくて……。高見 育ての母です。私は4歳10カ月のとき、福井大地震で両親と弟と祖母を亡くして、生き残った姉と私は、京都の伯母2人の家に別々に引

き取られました。当時52歳だった養母は、私にしてみれば母親というより祖母に近い存在でしたが、私を慈しみ育ててくれました。その養母が呆けたんです。

小林 そのころ、高見さん

都の伯母2人の家に別々に引

とされていて、お医者さん

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

認知症になっても笑顔でくらする社会を —活動の柱は、家族どうして励まし合うことと、 社会をよくすること—	2
京都消費者問題セミナー	7
COP15代表派遣報告会	7
2010年 京都府生協連 新春交歓会	8
京都市食の安全性確保及び 安心な食生活の確保に関する条例	10
会員生協NOW⑬ 京都教育大生協	12

TOPICS

●男女共同参画委員会で京都府の取り組みを 学習	14
●「男女共同参画」をテーマに理事会公開学習会	14
●会員生協との相互連絡防災訓練を実施	14
●近畿地区生協 大規模災害図上演習	14
●監事・役職員研修会	14
●食と農のひろば	14
●医療制度問題学習会	15

●近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会

との意見交換会	15
●マスコミ関係者との懇談会	15
平和をつくろう～ユニセフ活動と音楽のつどい～ 池坊学園こころホールで開催	16
コープのpeaceな集い ～やましろ健康医療生協・京都生協・京都府生協連 共催～	16
きたがわてつさんコンサート ～愛と平和の宅急便～	16
おもな行事のお知らせ	16

高見 国生さん



でも「痴呆は、有効な薬もないし、治らない。だから医療の対象ではない」と考える人が多かったのですが、早川一光先生と三宅貴夫先生は「医療としては何もできないけれ

ども、とにかく介護にあたっては家族の苦しみや悩みを聞こう」ということで、「呆け相談」をやっておられました。そして、私たち家族に「現

状では医療的に有効な措置はない。ならば、せめて介護をしている人どうしが集まって、励まし合ったらどうか」とよびかけてくださったので

これは家族の問題だ

「呆け老人をかかえる家族の会」の設立

小林 そういえば、以前は「認知症」ではなく「痴呆性老人」とよばれていましたね。はじめて家族の方がたが集まられたときは、いかがでしたか。

高見 ひとことというとう、すごい衝撃をうけました。世の中は、痴呆について理解も関心もなく、「アルツハイマー」という言葉も普及していません。家族は「痴呆は恥ずかしい。隠そう」という気持ちがつよくて、家族だけで介護をし、家族だけで苦しんでいたんです。

私もそのひとりで、「毎日、ウンコやおしっここの始末に追われて、おれは世界一不幸な男や」と思っていました。ところが、家族の集まりに行ってみると、同じように苦しんでいる人がたくさんいるんで

すね。「ああ、おれはひとりぼっちやない」と思いました。もうひとつ衝撃だったのは、「もつとたいへんな人がいる」と知ったことです。うちの母の場合、失禁はあるけれども、徘徊はありません。

そういう私が、「うちの父親は徘徊で、家族は警察やご近所に謝ってばかりいる」という話を聞くと、「失禁は臭いけど、徘徊にくらべたら、家の中でウンコの始末してるほうがましや」と思うし、徘徊で苦労している人は失禁の話

を聞いて、「失禁のお世話をしたはる人はいへんやねえ。それやったら、まだ私のほうがましですわ」ということになるんですね(笑)。

「こんなに苦しんでいるのは自分だけや」とか「私がおもつとがんばらねば」と考えてしまつて、もつとしんどくなつてしまつて。そのことに気づいた私たちは、「これは介護している家族の問題やから、いつまでもお医者さんによびかけられて、家族がお客さんになつてたらあかん。自分たちが会をつくつて、自分たちの運動としてやっつていこう」と

考えて、1980年に「呆け老人をかかえる家族の会」を立ち上げたんです。

いずれにせよ、どの人もたいへんな介護をしているのです。ひとりぼっちでいると、



小林 智子

京都府生活協同組合連合会 会長理事



● (社) 認知症の人と家族の会

1980年京都で結成。全国44都道府県に支部があり、会員は約10,000人。「つどい」「会報」「相談」で苦勞を分かち合い、介護への勇氣をわかせている。社会へのアピールもおこない、対策の前進を促している。

近年は、本人の思いを知る活動、若年期認知症の問題にも積極的に取り組んでいる。介護家族でなくても関心のある人なら誰でも入会できる。会費は、年間5,000円。会員には、会報「ぼ〜れば〜れ」と住所地の支部会報が毎月送られる。つどいへの参加や電話相談の利用もできる。

【本部事務局】 〒602-8143 京都市上京区堀川丸太町下ル京都社会福祉会館2F

TEL : 075-811-8195 FAX : 075-811-8188

E-mail : office@alzheim.or.jp URL : http://www.alzheimer.or.jp



励ましの活動 ——二本柱の活動

小林 会ができて11年後の1991年当時、私は高齢化率の高い上京区に住んでいて、生協で「上京くらしの助け合いの会」の設立にかかわっていました。ところが、地域では認知症を隠そうという意識がよくて、他人が家に入ることに強い抵抗感があることを感じました。

高見 隠す背景には、「認知症になったら何もわからなくなる。もう人間としての価値がない」という、病気にたいする偏見や誤解や差別がありますね。それは障害をもつ人にたいしても同じです。

小林 それで家族が介護になうのですが、やっぱり限界が来て、後ろめたさを感じながらも施設入所を選ぶしかない。

ところが、当時、上京区には老人福祉施設が皆無で、遠く離れた施設に入るしかなく、ご本人と家族が離ればなれになってしまうことが多かったんです。

そういう実態を知るなか

で、「上京に老人福祉施設をつくって、老いても安心してくらせるまちにしよう。身近なところに施設があれば、家族も近所の人もいつも会いに来て、住みなれたまちでくらしつつづけることができ」ということで、地域で運動が起こり、「上京くらしの助け合いの会」をはじめ、いろいろな団体や個人が署名運動に取り組みました。

高見 身近な地域に施設サービスが十分用意されれば、家族も「しんどくなったら預けられる」ということで、気持ちに余裕ができて、逆に介護にがんばることができま

す。でも、以前は、老人福祉施設といえば、「人里離れたところに建っていて、プライバシーもない大部屋に入れられる」という、まるでうば捨て山のようなイメージでしたし、実態もそれに近いものでした。だから、家族は施設サービスを使うことについて、「自分らは冷たい家族や」

「家族として努力が不十分やったんや」と思っていて、苦しんだんです。

小林 そういう状況のなかで高見さんたちは、家族が励まし合うだけでなく、国にたいしても要望書を出すといった活動をされてきました。それが介護の苦勞を世に知らしめ、介護保険という制度を生み出す大きな力になったのではないかと思います。

高見 私たちは、会を結成してから32回も国に要望書を出しつつづけています。

なぜかというところ、いくら家族どうしが励まし合っても、帰宅すれば同じ現実が待っている。もう家族だけで介護するのは限界だ。社会的に介護を支えてほしい」と考えたからです。

でも、まだ認知症のことが知られておらず、当事者の数もいまより格段に少ないなかで、介護を支える制度を実現するには、家族の苦勞を社会に知らせる必要があるし、家族の苦勞を伝えるためには



「家族の恥」のようなことを話さないといけない。それは家族にとって大きなハードルでした。しかし、会員のみなさんはそれを乗り越えて、介護体験を話したり書いたりしながら、「もつと関心をもつてほしい」と訴えてきたんです。ですから、私たちの会は現在も、家族どうしが交流し合うことと、それを社会にむけて発信し世の中をよくしていくこと、この二つの柱を活動の中心にすえています。

くらしが安定してこそ介護もできる ——介護保険の功績と問題点

小林 介護保険がスタートし、西陣の狭い路地をデイサービスを送迎車が走り回るようになって、人びとの意識もずいぶん変わったと思います。認知症にたいする偏見やサービス利用への抵抗感はかなり薄れてきました。

高見 その光景は、まさに隔世の感がありますね。やっぱり「可視化」というのは大事で、毎日、送迎車が行き交う姿を目にしていると、人びとの意識も変わってきます。介護保険ができて、通所サービスや施設サービスなど、サービスの総量が増えましたし、入所施設でもユニットケアが導入されたりして、精神的な側面でもサービス利用のハードルが低くなりました。これらはたしかに介護保険制度の功績です。

ただし、行政の責任があまりまいになったという側面は否めないと思います。行政がこのような措置制度にもとづいて介護サービスの多くが提供されていた時代は、福祉事務所のケースワーカーが介入して支えていましたが、いまの行政は「介護保険を申請して、ケアマネジャーに相談しなさい」と、まるで介護保険の紹介機関のような対応です。

もうひとつの問題は、利用者負担が増えたことによつて、「いつでも、どこでも、だれでも、必要なときに必要なサービスを受けることができる」という介護保険の理念がゆらいでいること。もともと利用料の1割負担も問題でしたが、とくに2006年の改定で食費と住居費が自己負担になり、利用者の費用負担

が大幅に増えました。それにくわえて、保険料の値上げや、「介護予防」の名のもとにサービス量が制限されたりして、介護保険の理念が空文化しているという指摘もあるほどです。

そのうえ、2006年に閣議決定された社会保障費の2200億円削減によって、介護保険だけでなく医療や年金も切り下げられて、人びとにくらしそのものがきびしくなってきました。

医療費や税負担が増えて、くらしがおびやかされるなかでは、介護もいつそう困難になっています。

小林 介護の現場を支える職員の待遇も劣悪で、離職する人が増えていますね。

高見 私たちの会は「提言・私たちが期待する介護保





険2009年版」のなかで、「介護従事者の生活が保障され、安心して仕事に取り組めるよう待遇改善を継続的に図ること」という提言をしました。そうしないと家族も困ります。

また、「高齢社会をよくする女性の会」による、介護従事者の待遇改善をもとめる署名活動に会として取り組んだところ、会員は自分の親が入所している施設以外にも飛び込んで、署名を集めてきました。

た。そういう家族の姿に励まされて離職を思いとどまった介護従事者もいます。その意味では、社会福祉を切り捨てる政策は、家族と介護労働者を連帯させたといえますね。

「地域づくり」や「支え合い」の危うい —— 自助や共助には限界がある

小林 こうしてお話をうかがっていると、老後や介護のことを地域で話し合うことの大事さを痛感します。京都市協では、何でも自由に話し合う「おしゃべりパーティー」をやっていますが、介護をやっている人が参加されて、その体験談をみんな聞いて励ましたという報告もありました。また、医療生協でも、地域の拠点づくりに取り組んでいます。

ず自助でがんばって、それだめなら共助。共助もだめなら公助で支えましょう」というやり方に利用されやすい側面ももっているのです、注意が必要です。

支え合いの活動もできるはず。おおいに期待しています。

小林 みんなで支え合いながら、同時に、私たちがくらす社会そのものがよくなるように取り組むことが大切ですね。期待にそえるようがんばります。本日はお忙しいところ、どうもありがとうございます。

高見 みんなが理解し合える地域になれば、認知症にかぎらず、他の困難をもっている人も生きやすくなるのですから、地域づくりはとても大切だと思います。

というの、いくら生協が地域づくりに取り組んでも、いくら私たちの会が支え合いに取り組んでも、自助や共助や支え合いだけでは解決できない社会的な問題もあるんですね。だから、生協は社会を変えたい運動にもつねに取り組んでほしいと思います。

生協は、まさにくらしそのものでつながっている組織ですから、介護もふくめて、くらしに関係することなら何でもできるし、ほんとうの意味での地域づくりや助け合い、

ただし、「地域づくり」や「支え合い」は、行政の「ま

ただし、「地域づくり」や「支え合い」は、行政の「ま



(写真撮影・有田知行)

プロフィール：高見国生(たかみくにお TAKAMI KUNIO)

社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事。

1943(昭和18)年、福井県生まれ。京都市北区在住。元京都府職員。ほけた母親(養母)を、共働き、育児をしながら約8年間在宅で介護。

介護中の1980年、「呆け老人をかかえる家族の会」結成に参画。以降、今日まで代表を務める。

「家族どうしの励ましあい助けあいと社会的関心を高め介護の社会化をすすめる」ことを掲げた活動は、全国に広がっている。



京都消費者問題セミナー

「私たち いつまでも
騙されていいの!?!」

3月9日(火)、京都消費者契約ネットワーク・コンシューマーズ京都・京都生協・京都府生協連の共催で開催しました。京都府生協連・小峰耕二専務理事が司会進行を担当しました。

2009年、消費者庁・消費者委員会が創設され、地方公共団体でも消費者相談窓口の充実などがすすめられています。市民・消費者団体の役割・期待も大きくなり、この間の取り組みの報告や交流をおこないました。



小峰耕二専務理事の司会進行で開会

京都府消費生活相談員による最近の消費者被害事例報告、弁護士・司法書士などによる問題のある事業者への申し入れや訴訟の取り組み報告、消費者団体による美容・健康食品の広告の問題点報告などがありました。

野々山宏弁護士・京都産業大学教授が「消費者市民社会への転換が始まっている」と、消費者団体の役割について解説・講演しました。京都生協・渡辺明子副理事長が閉会のあいさつをのべました。

**消費者行政担当者と
適格消費者団体との懇談会**
2009年12月4日(金)、近畿2府5県および政令都市の消費者行政担当と近畿の適格消費者団体(消費者支援機構関西、京都消費者契約ネットワーク、ひょうご消費者ネットワーク)、生協府県連など40人が参加して開催されました。

三つの適格消費者団体からの活動報告、京都府と奈良県からの報告があり、意見交換しました。

泉ケンタ内閣府大臣政務官と意見交換



子どもを事故から守るためには……

1月20日(水)、地方消費者行政強化、適格消費者団体への支援などをテーマに意見交換。京都消費者契約ネットワーク・コンシューマーズ京都・京都府生協連の役員が出席しました。

京都府消費生活行動計画へ 意見書を提出

2009年11月11日(水)、京都府「安心安全な消費生活の実現を目指す行動計画(中間案)」へ意見書を提出。

相談員の育成・配置への支援、知事を先頭とする総合的な消費者行政推進、年度ごとの具体的な到達目標設定などを要望しました。

COP15代表派遣報告会

2009年12月、デンマーク・コペンハーゲンで「COP15(第15回気候変動枠組条約締約国会議)」が開催されました。

京都生協と京大生協から、それぞれ2人の代表が派遣され、現地で地球温暖化防止と会議の成功を訴える活動に参加しました。

1月28日(木)、せいきょう会館で、代表派遣者による報告会が開催されました。NPO法人気候ネットワーク・田浦健朗事務局長から、COP15の内容と評価、今後の課題などが報告され、出席者と意見交換しました。

京都生協代表の吉村由喜子さん、亀岡昌子さんからは、デンマークの環境の取り組みなどもあわせて報告されました。

クールな地球へ!

京都アクション2009

2009年12月12日(土)、デンマーク・コペンハーゲン



コープ自然派京都・柴垣千春専務とごいっしょに

で開催中のCOP15に呼応し、世界のすみずみで行動をつよめようと、京都の市民・団体でつくる実行委員会(京都府生協連、気候ネットワークなど)のよびかけで、市内パレードをおこないました。当日はあいにくの雨でしたが、衣装などに工夫をこらし、外国の方をふくむ200人が参加、楽しくアピールしました。沿道の市民のみなさんからも激励をいただきました。京都生協、コープ自然派京都などの会員生協はじめ、滋賀県・奈良県・和歌山県など近隣の生協からも役員が多数参加しました。

2010年京都府生協連 新春交歓会開催



京都商工会議所
龍不可止 理事



京都消費者契約ネットワーク
野々山宏 理事長



京都府府民生活部
黒瀬敏文 部長



京都府生協連
小林智子 会長理事

1月9日(土)、コープイン京都で2010年京都府生協連新春交歓会を開催しました。

右近裕子理事の司会で開会。小林智子会長理事が「消費者の長年の願いだつた消費者行政の一元化にむけて、消費者庁が発足しました。消費者被害をなくすためにみんなで力をあわせていきましょう」とあいさつしました。

つづいて、京都府府民生活部・黒瀬敏文部長、適格消費者団体・特定非営利活動法人京都消費者契約ネットワーク・野々山宏理事長から来賓のごあいさつをいただきました。

今年も地元選出の国会議員のみなさんはじめ、府議会議員、市議員の方がたが多数ご出席くださり、小峰耕二専務理事よりご紹介させていただきました。

京都商工会議所・龍不可止理事による乾杯のあいさつで会食・懇談に入りました。行政や議員のみなさんをはじめ、117人の方にご参加いただきました。立命館大学邦楽部のみなさんによる祝賀の演奏が、お正月らしさをいっそうひきたてました。

さいごに中森一朗副会長理事が会員生協の役員を紹介し、閉会のあいさつをのべました。



会員生協役員の紹介

代理出席いただいた国会議員

(敬称略・順不同)

民主党 衆議院議員	山井和則
(代理) 秘書	田中良典
民主党 参議院議員	松井孝治
(代理) 秘書	木元俊大
公明党 衆議院議員	池坊保子
(代理) 秘書	田中伸一
日本共産党 衆議院議員	こくた恵二
(代理) 秘書	小林孝宏

ご出席いただいた国会議員のみなさん (順不同)



内閣府大臣政務官
民主党衆議院議員
泉ケンタさん



外務副大臣
民主党参議院議員
福山哲郎さん

祝電・メッセージをいただいた国会議員

(敬称略・順不同)

国土交通大臣 民主党 衆議院議員	前原誠司
内閣官房副長官 民主党 参議院議員	松井孝治
内閣府大臣政務官 民主党 衆議院議員	泉ケンタ
厚生労働大臣政務官 民主党 衆議院議員	山井和則
民主党 衆議院議員	小原舞
公明党 衆議院議員	池坊保子



民主党衆議院議員
平智之さん



民主党衆議院議員
北神圭朗さん

ご出席いただいた 京都府議会議員・京都市会議員

(敬称略・順不同)

日本共産党 京都府議会議員	松尾孝
日本共産党 京都市会議員	山中渡
日本共産党 京都市会議員	せのお直樹
日本共産党 京都市会議員	くらた共子
公明党 京都市会議員	井上のり子



民主党衆議院議員
豊田潤多郎さん



立命館大学邦楽部のみなさんによる演奏

「京都市食の安全性確保及び

安心な食生活の確保に関する条例」

提言、市会各会派への要請など活発に

京都市では、2008年2

月市会で「食の安全安心条例をつくる必要があるのではないか」という質問（公明党・大道義知議員）があり、門川大作市長が「京都らしい条例を制定する」旨の答弁をおこないました。以降、事故米穀問題への対応などのため、準備作業が遅れていましたが、2009年12月に条例骨子案が公表され、12月3日から1月4日までパブリックコメントに付されました。



京都市生活衛生課・土井直也課長

2009年12月18日（金）、

ウィングス京都で、条例骨子説明会が開催され、京都府生協連はじめ、京都生協、生活クラブ京都エル・コープの役員が参加しました。

ついで12月25日（金）、せいさよう会館で、コンシューマーズ京都・京都府生協連・京都生協と京都市担当部局との懇談会を開催し、条例骨子案について意見交換しました。12月28日（月）、条例骨子案への意見書を提出しました（抜粋を次ページに掲載）。

2月から、京都府生協連は、コンシューマーズ京都とともに、京都市会各会派との意見交換会を開催。

京都府生協連から、小峰耕二専務理事・坂本茂事務局長・高橋薫事務局次長が出席、条例制定にあたっての要望を伝えました。

自民党との意見交換会



(左から) 加地ひろし議員、津田大三議員、山元あき議員、田中英之議員 (2月3日)

日本共産党との意見交換会



(左から) 岩橋ちよみ議員、玉本なるみ議員、山中渡議員、西村よしみ議員 (2月2日)

民主・都みらいとの意見交換会



(左から) 藤川剛議員、おんづか功議員、鈴木正穂議員、中野洋一議員 (2月17日)

公明党との意見交換会



(左から) 湯浅光彦議員、大道義知議員、井上のり子議員、津田早苗議員 (2月2日)

緊急懇談会の開催



市会上程条例案には問題点も……

2月20日（土）、京都府生協連は、ウィングス京都で、コンシューマーズ京都とともに、議会提出案にふくまれている問題点などについて市民・市会各会派の理解をふかめるための懇談の場をもちました。

坂本茂事務局長が「議会提出案は、事業者による自主的な衛生管理の推進措置、健康への悪影響の未然防止措置など、骨子案を構成していた重要な部分が削除されている」と指摘、市会で審議してほしい「論点」について提案しました（次ページに抜粋）。

「条例骨子(案)」について の意見(抜粋)

○国際的な理論と水準、最新の科学的知見による先進的な内容をもった条例に。

○施策の実施状況の公表にあたっては、食の安全推進協議会の「評価」を得たうえで、「実施状況及び評価の内容を公表する」とすべき。

○「本市における食の安全・安心推進体制の整備」が必要。

○「京(みやこ)・食の安全衛生管理認証制度」は、府の「きょうと信頼食品登録制度」との統合を。

○「適正な食品等の表示の確保」項をあらたに起こし、事業者支援の仕組みの創設が必要。

○健康への悪影響が生じた時等の措置(指導、勧告、公表)についての「手順」を整備することが不可欠。

○「市長は、必要に応じ、当該自主回収手等の報告の内容を公表する」とのべているが、「すみやかに」でなくてはならない。

論点整理(議会審議のなかで明確にしていたきたいこと)(抜粋)

○「条例を制定することの意図・問題意識が読み取りがたい。

○行政じしんにおける食の安全・安心推進体制の整備が必要。

○骨子案にあった「健康への悪影響の未然防止」の「章立て」がなくなり、「健康への悪影響が生じた時等の措置(指導、勧告、公表)」の項目がなくなった。

○食品関連事業者への支援の仕組みがなくなった。

○自主回収報告制度にかんする提案は、制度の対象範囲を他自治体事例に比していじり狭めるものとなっている。

○条例の表題……「安心な食生活」という概念が不明。

○多くの条項が「努力規定」になっている。

○「安心な食生活」の確保にむけての施策が見えてこない。

きょうと食の安心・安全

フォーラム

1月29日(金)、京都府庁内福利厚生センターを会場に、きょうと食の安心・安全フォーラム実行委員会(京都府、京都府農業協同組合中央会、(社)京都府食品産業協会、NPO法人コンシューマーズ京都、京都府生活協同組合連合会)の主催で開催しました。今年度のテーマは「消費者と食品関連事業者が共につくる食の信頼」。京都府農林水産部理事・食の安心・安全推進課・片岡光信課長が京都府食の安心・安全行動計画について、説明しました。



京都府食の安心・安全推進課・片岡光信課長

次に同課・高田智之主任が

「きょうと信頼食品登録制度」及び「京のブランド産品」について話されました。

安心・安全の取り組み事例の紹介、試食並びに意見交換があり、110人が参加しました。

第3回きょうと食の安心・安全意見交換会



京都府農林水産技術センター畜産センター

2009年12月21日(月)、綾部市にある京都府農林水産技術センター畜産センターで開催されました。

同センター・荒田好彦部長があいさつされ、つづいて京都府畜産課・佐々木敬之主任、同センター・岩間小松主任研究員から報告がありました。

京都府生活協連からは小林智

子会長理事、廣瀬佳代常任理事のほか、職員2人が参加しました。

第4回きょうと食の安心・安全意見交換会

2月26日(金)、京都府庁内で開催されました。京都府生活衛生課・松井章課長のあいさつにつづき、京都府中丹西保健所食肉・試験検査室・星野桃子主任が食肉検査業務について説明しました。

千葉正広副課長から、平成22年度京都府食品衛生監視指導計画(案)について説明があり、意見交換しました。

京都府生活協連からは廣瀬佳代常任理事と事務局の3人が参加しました。



京都府生活衛生課・松井章課長

京都教育大生協 巻本彰一理事長を訪ねて

学生や教職員の
ライフスタイルにあった生協をめざして

京都教育大学は、教員育成を目的とする大学として、歴史を重ね、京都や伏見という地域に根ざした社会的・文化的環境、豊かな自然環境、人文・社会・科学や芸術・体育

など多様な内容が学べる教育環境を特色としています。キャンパス東部にある京都教育大生協を訪ね、巻本彰一理事長と羽賀省二専務理事からお話をうかがいました。

したり、毎朝キャンパス内を通って通勤する人の姿も見かけます。植物研究の実習として、学生が苗を植えたり水をやる姿もよくみかけます。

自然に恵まれたキャンパスで、教職をめざす学生
小林 自然に恵まれたキャンパスですね。
巻本 キャンパスの緑化率は高いです。地域にも開放されていますから、春にお花見を

巻本 教員志望という特徴もあって、女子学生が多く、女子学生が100%という学料もあるくらいです。男女ふくめて、まじめな学生が多い。他府県出身者が多いことも特徴のひとつです。

仕送りのない学生も少なくなく、授業が終わるとそのままアルバイトに行く学生がかなりあります。また、卒業までに二つの教員免許を基本的にとる必要があるため、必修の履修単位数も多く、高校の

時間割のように授業もびっしりつまっています。そのせいか、自分たちのことを学生じやなく、「生徒」とよんでいます。(笑)

資格取得志向が高いのも特徴で、たしかに資格があることとはよいことでしょうが、もっといろいろな経験をしてほしいと思いますね。広い視野

をもつことも大切ですから。

09年度から、理事長に就任

小林 理事長になられて、いかがですか。

巻本 昨年6月に、10年ちかく理事長をされていた平石隆敏先生から引き継ぎました。以前から理事をしていますが、理事長になったから急に何かが変わるといふことはなかったですね。でも、赤字になるのは困るなと思います。生協は、大学の福利厚生をになうものですから、学生・院生・教職員の大学生活を豊かによりよくしていかなければなりません。経費の削減などの努力で、昨年までの累積赤字が解消にむかっています。

出席率が高い生協総代会

小林 京都教育大生協の総代会は、出席率がとても高いですね。

巻本 昼休みに総代会を開催していることが大きいと思います。学外で保育などのボランティアもしているせい

でしょうか、協力をするというものがわりなくやられていますね。総代会だから来てくれという、素直に感じてくれます。京都教育大の学生は、おとなしくて、まじめで古風というイメージがあります。

小林 学生委員会の活動はいかがですか。

羽賀 「受験サポート」に、いちばん思い入れが強いですね。自分も受験時に迎えてもらった経験があるからなんでしょうね。



羽賀省二専務理事

巻本 京都教育大は、生協が手を出す余地がないくらい、学内自治がしっかりしています。自治会や学園祭委員会、献血デーの取り組みなど、しっかりやってくれています。大学と地域交流企画の「ふれあい伏見フェスタ」には、生協も企画参加をしました。



巻本彰一理事長



小林智子会長理事

ろう」でしたが、いまは、それでは通用しない。品質も味もももなつての低価格でないといけません。

購買部の利用状況

小林 購買部の利用はどうですか。

羽賀 コンビニでは、教員との連携で、授業で使う教材を取り扱っています。ただ、開講前後に利用が集中して、その後はほとんど利用がありません。在庫をいつまで持っているのかがむずかしい。「教科書共同購入」は、昨年はほぼ全員の新生が利用しました。

生協として役立つこと

小林 さきほど、生協は、大学の福利厚生役割をになうとのことでしたが、一般の業者との競合で、生協の経営状況に影響の出ている大学も増えてきていますね。

巻本 一般の業者は、新規顧客の獲得をするために、安さなど思い切った条件を打ち出すことがあります。しかし、

契約を更新する際に、こんどは値上げを通告してきます。長期的にみると大学のためにほならないと思っています。それについて、生協は最初から、「できる範囲」での提案をします。経費をおさえつつ、赤字を出さない範囲で、組合員の利益になる事業を思い切っておこなっていくということが大切だと思っています。それが生協の強みだと思います。



食物学研究室と学生有志の作成した食堂の卓上メモ

問題は山積みですが、学生・院生・教職員のそれぞれのライフスタイルにあった事業をすすめることのできる生協にしていきたいと思えます。また、生協をもっと利用していただくために、生協の取り扱っている商品・サービ

スを広くアピールする必要もあると思っています。

小林 京都教育大生協が学主・院生・教職員とともに、まじめに実践されている取り組みから、きょうはたくさんの方を学ばせていただきました。ありがとうございます。

京都教育大学生協同組合

代表者／理事長：巻本 彰省
専務理事：羽賀 森町1
所在地／京都市伏見区深草藤森町1
☎075-644-8355
事業高／2億4,730万円
組合員数／1,999人
設立年月日／1966年2月3日
<http://kyokyo.u-coop.net>

京都教育大学は教員養成を目的とする大学として歴史を重ねてきたが、大学環境が急速に変わりつつある。大学と地域の交流をめざした「京教市民合唱団」の活動が注目される。

食堂の利用状況

小林 新聞でも大きく取り上げられていた大学生協による学生の消費生活実態調査では、親の経済状況も反映して仕送りが減少しているように

生協としては、平和のピークアウトを貼っただけでは来てくれないので、生協の取り組みをどうやって知らせていくかが今後の課題です。

ただ、いまの学生は、ポスターを貼っただけでは来てくれないので、生協の取り組みをどうやって知らせていくかが今後の課題です。

すね。食堂の利用にも、影響が出ていますか。

羽賀 奨学金やアルバイトのみで生活している学生も多いため、さらに生活防衛として、ご飯だけを自宅から持参して食堂でうどんを買い足しておなかをふくらますという学生もいます。

巻本 卒業後、教職につくことをめざしているので、小鉢を意識してとるなど、食事の栄養バランスを考える学生も多いです。生協としても、カロリーだけでなく、バランスをどうとっていくかという

私が学生のときの生協のイメージは、「安かろうまずか

私が学生のときの生協のイメージは、「安かろうまずか



男女共同参画委員会で 京都府の取り組みを学習

2009年12月17日(木)、男女共同参画委員会は、京都府府民生活部男女共同参画課・大谷学課長を招き、せいきょう会館で学習会を開催しました。

「京都府での男女共同参画の取り組みと事業者および消費者団体に期待すること」をテーマに、男女共同参画社会の定義や、現在の男女共同参画にかんする府民の意識などについて説明いただきました。

大谷課長は「DV(ドメスティック・バイオレンス)は、愛情表現と受け取られやすく、友人や家族に相談しても理解してもらえない」「男性からの束縛で相談しにくい」といった問題点を指摘されました。

相談窓口の書かれたリーフレットを生協の事業所に置くなどの協力をしてほしいとの要請がありました。

「男女共同参画」をテーマに 理事会公開学習会

2月9日(火)、登録会館で、立命館大学産業社会学部・津止正敏教授を講師に招き、2009年度男女共同参画学習会を開催しました。

テーマは「ワーク・ライフ・バランスを『介護』の視点から



立命館大学産業社会学部・津止正敏教授

考える「男性介護研究から」。

3人に1人と増加している男性介護者が、家事に苦勞しつつも日々介護する姿などを紹介、介護保険制度の問題点の説明もかねながら、「いま私たちにできること、もとめられていること」についてご提案いただきました。

理事・監事のほか、男女共同参画委員会委員など20人が参加しました。

会員生協との 相互連絡防災訓練を実施

1月18日(月)、「京都市内を震源とする震度7の地震が発生」との想定のもとで、会員生協との相互連絡防災訓練を実施しました。

京都生協、府庁生協、大学生協京都事業連合とのあいだでは防災無線を使つての訓練をおこないました。

近畿地区生協 大規模災害图上演習

1月19日(火)、奈良ロイヤルホテルを会場に、関西地連大規模災害対策協議会の主催でおこなわれました。

2008年10月、富山・石川・福井・愛知・岐阜・三重・滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・兵庫の12府県生協連と日本生協連(関西地連)が「震災等大規模災害時における応急生活物資等に関する相互支援協定」を締結したことをうけて、昨年につづき開催されたもの。

奈良県北部を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、奈良県・京都府南部で死者・不明者、建物損壊等の被害が出ているとの想定のもとにおこなわれました。



大学生協京都事業連合・赤木一成役員室長も審判



京都府庁生協・今西静生専務理事

生協の事業継続・事業再開、被災者支援、行政との協定にもとづく応急生活物資要請への対応などについて、実践しながらの緊張した演習をおこないました。

近畿2府4県から、97人が参加。京都生協・府庁生協・大学生協京都事業連合・京都府生協連から、14人の役職員が参加しました。

監事・役員研修会



京都大学大学院経済学研究科・若林靖永教授

2月16日(火)、せいきょう会館で監事・役員研修会を開催しました。今日の経済・社会状況のもと、組合員のくらしと生協の各種事業・経営のきびし

食と農のつながり

さがつのるなかで、組合員の願いにこたえる事業・経営をどのように改善・改革していくか、京都大学大学院経済学研究科・若林靖永教授にご講演いただきました。

京都府府民生活部消費生活安全センター・藤井嘉規副課長から、生協検査等をふまえて、組織運営にかんする改善要望事項について報告をいただきました。



立命館大学講師・渡辺信夫さん

望について、生産者と消費者が交流しました。

立命館大学講師・渡辺信夫さんから「円高・デフレ経済と日本の食と農」と題した話題提供があり、つづいて生産現場の状況や取り組み事例として、みかん（近畿農政局）、牛乳（大山乳業農協）、「やぐら（めたま）」（京都生協）についての報告がありました。会場からも多くの質問や意見が出され、活発な意見交流がおこなわれました。

医療制度問題学習会

3月6日（土）、せいきょう会館で、医療制度問題についての学習会を開催しました。乙訓医療生協・医誠会診療所・津田光夫所長が「10年後、あなたは病気になるか」と題して講演。つづいて、京都府保険医協会・中村暁さんからの課題提起がありました。



乙訓医療生協・医誠会診療所・津田光夫所長

雇用と貧困、医療・社会保障の実態、新政権の政策、社会保障の今後をどう展望するのか、などについて考えあいました。役員25人が出席しました。



京都府保険医協会・中村暁さん

近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会

3月16日（火）、せいきょう会館で、近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会が開催されました。近畿農政局からは塚本和男局長はじめ、9人の方が、生協からは近畿6府県の生協連・日本生協連関西地連の役員など24人が参加しました。

意見交換会が開かれるのは、こととして12回目。塚本和男・近畿農政局長、近畿地区生協府県連協議会を代表して小林智子・京都府生協連会長理事があいさつをのべました。

テーマと農政局からの報告者は以下のとおり。「食料・農

業・農村基本計画」中山直子・企画調整室長、「戸別所得補償制度」藤澤友二・生産流通経営部次長、「組織・定員改正」関将弘・消費生活課長、「近畿食と農アクション宣言」高木圭介・企画調整室企画官。



近畿農政局・塚本和男局長

マスク関係者との懇談会

3月2日（火）、平安会館で、京都に本支局を置く新聞・放送編集者と京都府生協連役員との懇談会を開催しました。

京都の生協活動の現状と課題をマスク関係者にお知らせし、意見交換・懇親する場として毎年おこなっているものです。

開会にあたり、京都府生協連・小林智子会長理事と、産経

懇談会にご出席いただいたみなさん（順不同・敬称略）

会社名	役職名	氏名
朝日新聞京都総局	総局長	畑山美和子
京都新聞社	編集局長	上野孝司
京都放送	報道局長	駒木根 徹
共同通信社京都支局	支局長	栗本敬三
産経新聞京都総局	総局長	田所龍一
時事通信社京都総局	総局長	清水達也
中日新聞京都支局	支局長	石川弘之
日本経済新聞社京都支社	支局長	古賀重樹
フジサンケイビジネスアイ京都支局	支局長	小林 茂
毎日新聞社京都支局	支局長	北出 昭
読売新聞京都総局	総局長	松尾徳彦

新聞大阪本社編集局・田所龍一
京都総局長からあいさつがありました。

生協からは、2009年度の特徴的な活動として、①「地域生協の状況」（京都生協・北村英和常務理事）、②「大学をめ



産経新聞大阪本社編集局・田所龍一京都総局長

ぐる情勢と大学生のくらしの実態」（大学生協京都事業連合・沼澤明夫専務理事）、③「医療をめぐる状況と医療生協の活動」（乙訓医療生協・小野留美子専務理事）、④「適格消費者団体の活動」（京都府生協連・小峰耕二専務理事）について報告しました。

不況のなかでの地域生協の新しい取り組みや地域とのつながり、学生をとりまく大学生協の活動や学生生活の特徴、医療生協の活動実態、建物賃貸借契約等にかんする苦情の実態などについて質問が出され、意見交換しました。

今西静生常任理事（京都府庁生協専務理事）が閉会のあいさつをのべ、終了しました。

平和をつくるう〜ユニセフ活動と音楽のつどい〜

池坊学園こころホールで開催

3月13日(土)、京都生協

と京都府生協連の共催で開催しました。つどいは、京都生協がユニセフ募金活動をはじめ

てから20周年をむかえたことを記念して開かれたもので、1000人が出席しました。

1979年国際児童年にあたって、国際協同組合同盟

(ICA)と日本生協連は、ユニセフ(UNICEF)のよびかけにこたえ、日々水くみの重労働に追われる発展途



玉木孝治さん〜会場いっばいに響くピブラフォンの音色

上国の子どもたちに「バケツ一杯の水を送ろう」として募金活動を開始しました。

第1部では日本ユニセフ協会団体組織事業部・谷口光さんが「20年のふりかえり、これからの支援にむけて」のテーマで講演されました。

谷口さんは「世界中の人びとがみんな平和を守り、くらしをよくすることをめざして、国際的な助け合いの活動をひろげていきましょう」とよびかけました。

第2部は、「ピブラフォン・ドリーム21」と題して、ピブラフォン奏者の玉木孝治さんが演奏。

玉木孝治さんは、子どもたちに「夢を持つとうー!」「持ちつづけようー!」「そのために今、なにかはじめようー!」と「ドリーム・夢」を合言葉に日本中をまわっています。



日本ユニセフ協会・谷口光さん

レパートリーの広さと慈しむように奏でるピブラフォンの音色は聴くものを魅了しました。

当日は、「星に願いを」「アールの女」からはじまり、最後の「チャオチャオ」では子どもたちも舞台上がって、楽しく踊りました。

玉木さんは「世界中のすべての人びとが『夢』を持ち、その『夢』を持ちつづけることができる、争い事のない穏やかな日がつづくことを願ひながら、演奏活動をつづけていきたい」と熱い思いのこもったメッセージを伝えられました。

コープのpeaceな集い
〜やましろ健康医療生協・

京都生協・京都府生協連 共催

2009年12月9日(水)、文

化バルク城陽で、弁護士・伊藤塾長・伊藤真さんを招いて、「けんぼうを知ろう」をテーマに学習会を開催しました。

伊藤さんは「日本国憲法の本質は徹底した人権の尊重です」「人は生きているだけで誰もがかけがえない価値をもっている」とつよく訴えられました。80人が参加しました。

きたがわてつさんコンサート

〜愛と平和の宅急便〜

1月29日(金)、京大生協教職員委員会の主催で開催され、150人が参加しました。「ヒロシマの有る国で」など、核兵器廃絶を願う人びとの愛唱歌がたくさん披露されました。京都府生協連、大学生協京滋・奈良地域センターが後援しました。

おもな行事のお知らせ

京都府生協連第57回通常総会

日時：2010年6月29日(火)
午後1時30分〜5時(予定)

会場：池坊学園洗心館
6階第1会議室

ピースパレード
(2010年度ピースアクション
京都)

日時：2010年6月21日(月)
(予定)

会場：祇園石段下から京都市役所
前まで

2010年国際協同組合デー
第21回京都集会

日時：2010年7月14日(水)
午後1時50分〜午後3時
50分(予定)

会場：キャンパスプラザ(予定)

京都府生協連役員研修会

日時：2010年7月28日(水)
(予定)

会場：せいきよう会館(予定)

発行：京都府生活協同組合連合会 〒600410855-1 京都市中京区烏丸夷川東南角 せいきよう会館2階
TEL:075(251)1551 FAX:075(251)1555
URL: http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail: kyotofu-seikyoren@ma2.seikyounet.jp



代表作の「日本国憲法前文」

CO-OP

発行：京都府生活協同組合連合会 〒600410855-1 京都市中京区烏丸夷川東南角 せいきよう会館2階
TEL:075(251)1551 FAX:075(251)1555
URL: http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail: kyotofu-seikyoren@ma2.seikyounet.jp